



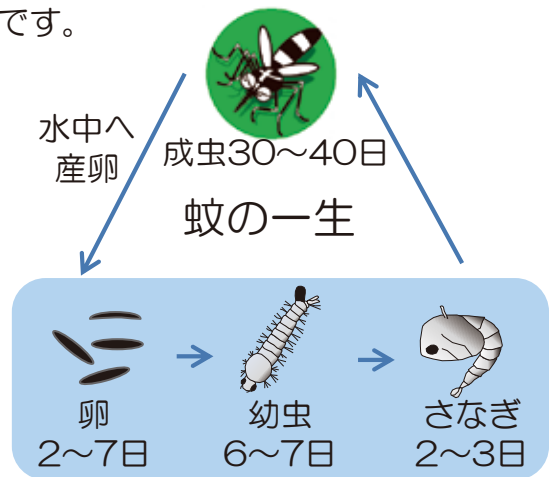
蚊はたまり水から発生します

夏が近づき、蚊が発生しやすい季節になってきました。蚊に刺されるとかゆくなるだけでなく、デング熱など蚊が媒介する感染症にかかってしまう可能性もあります。蚊の発生を減らすためには「たまり水」を減らすことが重要です。

なぜたまり水？

蚊は成虫が水中に卵を産み付け、孵化した幼虫がさなぎを経て成虫になるまで、たまり水のような淀んだ水中で暮らします。

そのため、たまり水を減らすことができれば、蚊が卵を産み付ける場所が減り、蚊の発生を抑えることができます。



どこに気を付ければいいのか？

蚊はちょっとした、たまり水に卵を産み付けます。以下のようなところに水がたまっていることが多いので、チェックしてみてください。



植木鉢の受け皿



雨さらしのバケツ



古タイヤ



空き缶、空き瓶、
空きペットボトル

東京都では、蚊の発生シーズン前の6月1日から6月30日までを「蚊の発生防止強化月間」と定め、蚊の発生防止対策に関する啓発キャンペーンを実施しています。

キャンペーンの内容や、より詳しい蚊対策の情報は、東京都保健医療局のWebページをご覧ください。

東京都 蚊対策

検索



【令和5年度蚊対策ポスター】

【この記事に関するお問合せ】 生活環境安全課 環境衛生第一・第二担当

このマークは、目の不自由な方などのための「音声コード」で、コードの位置を示すために切り込みを入れてあります。専門の読み上げ装置で読み取ると、記事内容を音声で聞くことができます。

